

長期成長戦略

前提となる事業環境予想		
国内	海外	
■ 蒸気ボイラ市場は緩やかに縮小（2030年度以降加速） 人口減少やCO2排出量削減の大きな流れにより、主力の蒸気ボイラ市場の縮小が懸念されるが、今後も日本国内の産業現場の熱需要を支えるのは蒸気が主流であると見込まれる。 ■ 低炭素がメインストーリー（急速な脱炭素化は無い） 2030年までにCO2排出ゼロの水素などのグリーンエネルギーに完全に切り替わることは予想されず、省エネ提案によるカーボンニュートラルへの取り組みが不可欠な環境へ進むと想定される。将来を見据え、当社ではボイラのエネルギー全方位対応が可能な製品供給体制の構築を進めている。	■ 各国での政策の違いがあり、各様の市場変化 他メーカーの経営環境は厳しい。 } 企業の淘汰が進む 新燃料対応技術力の必要性向上。 } ■ 各国のエネルギー事情に応じた脱炭素への取り組み カーボンニュートラルに対する活動の地域差拡大。	
基本方針	グループ総合力を活かしたトータルソリューションの深化 ～お客様とのさらなる信頼関係の強化、つながりの広がりを目指して～	
長期視点でのKPI	ROE 13%以上	
重点課題		主な取り組み
カーボンニュートラル	● お客様の既存設備の活用とエネルギー転換の速度とのバランスをとりながら広角度での環境対応	● 補助金を活用しつつ、最適なエネルギーミックスの提案 ● 産官学での新燃料関連製品・システムの共同開発
グローバル化	● 業界戦略の推進と多国籍企業の攻略 ● カーボンニュートラルを意識した空白地帯への拠点展開	● 進出市場での日誌分析・省エネ診断の徹底 ● 海外グループ法人の従業員の幹部登用の推進 ● 海外グループ法人間の技術連携と販売ネットワークの整理
ESG取り組み	E 既存製品の効率化および新燃料対応 S ダイバーシティを踏まえた人事制度改革 G 各部門・会議体でモニタリング機能の強化	● 環境負荷低減製品の開発 ● 執行のスピード化を図る目的で大幅な権限委譲を実施 ● 事業戦略に関するKPI の設定・モニタリング

ミウラグループは、「トータルソリューションでお客様のお困りごとを解決するスーパーメンテナンス会社」を、ありたい姿と位置づけております。お客様との信頼関係を保ち、当社製品を通じて持続的につながり続けるために、事業環境の変化を捉えながら、グループ一丸となり様々な取り組みを行っています。以前より取り組んでいるトータルソリューション活動は、お客様工場のユーティリティから生産加工プロセス領域までの大型工事の積極的な受注と、当社独自の省エネ・CO2削減提案による差別化で、進化を続けています。温熱から冷熱・空調まで幅広い熱に対応できる製品

の充実、人手不足解消など、お客様の要望に応えたトータルソリューション活動により、一步一步前進しています。工場ユーティリティのオールミウラ化に必要である事業として資本提携や業務提携を行い、かつ、他社からの技術移転や他社との研究開発を積極的に行い、独力では困難な事業展開や技術開発を加速しています。

2025年4月には、進化したサービスとして「まるごとメンテナンスサービス」がスタート。今まで以上にお客様の業務負担が軽減できるメニューが充実しています。これらにより、今後益々、お客様の生産性向上に寄与することができると考えております。

